

平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	卒業研究(Graduation Thesis)		授業コード	C109927
担当教員名	安田 幸夫		科目ナンバリングコード	
配当学年	4	開講期	通年(前期・後期)	
必修・選択区分	必修	単位数	6	
履修上の注意または履修条件	注意として、毎日出席すること。 条件として、卒業研究の着手条件を満たしていること。			
受講心得	大学での学習の集大成として有意義な研究時間を持つことを期待しています。			
教科書	なし。適宜、図書館等で必要な参考文献を見つけて下さい。			
参考文献及び指定図書	なし。			
関連科目	全科目			

授業の目的	卒業研究は大学4年間の集大成です。自発的な取り組みはもちろんのことですが、実験結果を分析し、成果としてまとめ上げ、それを発表するといった取り組みができるようになることが要求されます。
授業の概要	これまで学んだことを基礎として指導教員のもとで研究活動に取り組み、卒業論文を完成させ、卒業研究テーマを選定し、各自の項目について計画立案し、実験・調査を通して、論文をまとめます。テーマは二つあり、「化学繊維の強度に関する研究」と「大分沿岸部における藻場形成に関する研究」としていますが、各自持込の調査研究も内容によっては可能です。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週： 研究テーマの内容説明を行います。	
第2週： テーマを決定するための初期調査を実施します。	
第3週： テーマごとに文献調査を実施します。	
第4週： テーマごとに文献調査を実施します。	
第5週： テーマごとに文献調査を実施します。	
第6週： 目標設定と計画の立案を行います。	
第7週： 実施方法と計画の立案を行います。	
第8週： 実施方法と計画の立案を行います。	
第9週： 計画に従って研究を進めます。	
第10週： 計画に従って研究を進めます。	
第11週：	

計画に従って研究を進めます。	
第12週: 計画に従って研究を進めます。	
第13週: 計画に従って研究を進めます。	
第14週: 計画に従って研究を進めます。	
第15週: 中間発表を行うとともに、計画の調整を検討します。	
第16週: 計画に従って研究を進めます。適宜、計画の見直しを行っていきます。	
第17週: 計画に従って研究を進めます。適宜、計画の見直しを行っていきます。	
第18週: 計画に従って研究を進めます。適宜、計画の見直しを行っていきます。	
第19週: 計画に従って研究を進めます。適宜、計画の見直しを行っていきます。	
第20週: 計画に従って研究を進めます。適宜、計画の見直しを行っていきます。	
第21週: 計画に従って研究を進めます。適宜、計画の見直しを行っていきます。	
第22週: 計画に従って研究を進めます。適宜、計画の見直しを行っていきます。	
第23週: データの解析を行い、データの補填を行います。	
第24週: データの解析を行い、データの補填を行います。	
第25週: 論文の作成を行います。	
第26週: 論文の作成を行います。	
第27週: 論文の作成を行います。	
第28週: 研究発表の準備を行います。	
第29週: 研究発表を行います。	

第30週： 研究発表の結果を踏まえて、論文を完成させます。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	
	(2) 複数担当の場合の方式	
	(3) アクティブ・ラーニング	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	毎日出席し、意欲的に取り組むことができる。
【知識・理解】	研究の内容を理解し、必要な知識を自身で得ることができる。
【技能・表現・コミュニケーション】	必要な分析技術をマスターするとともに、協働して研究に当たることができる。また、プレゼンテーションを組み立て実施することができる。
【思考・判断・創造】	実験で得られた結果について考察し、結論を導くことができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点	5点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		10点	5点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		30点	10点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		20点	10点	
(「人間力」について) ※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	論文作成ツールの使い方、論文の体裁や内容について、また日頃の取り組み状況を反映します。
発表・その他 (無形成果)	パワーポイント、発表内容、態度、質疑応答等の受け答えなど、総合的に判断します。